

「中央本線の車窓 (7)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

甲府観光といえば、駅から北へ進んだ「武田神社」をまっさきに訪れる人が多いと思う。しかし、甲府駅構内からも見える「甲府城」も是非訪れたい。



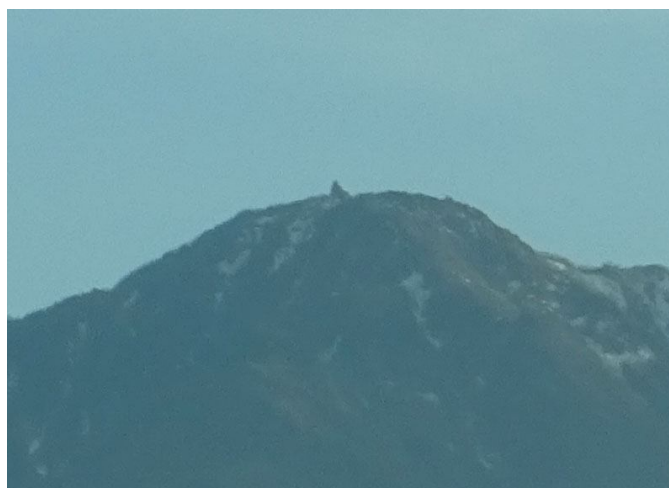
甲府城(舞鶴公園)の航空写真(国土地理院提供、筆者注釈)である。天守閣こそ現存しないが、なかなか立派な城跡である。甲府城は武田信玄の居城と思われがちだが、実はちがう。甲府城は、武田氏滅亡後に建てられたもので、現在の甲府市もその城下町だった。江戸時代には、親藩である甲府藩の城となり、徳川幕府にとっても重要な拠点だったという。現在でも、山梨県庁は、もともと城のあった敷地に位置する。



甲府駅構内から見たのは、本丸の北側にあった「稲荷櫓(いなりやぐら)」である。小田原城など、鉄道車窓から見える城跡は多いが、県庁所在地の駅構内から見える城跡は珍しいだろう。



短い停車時間のあとに甲府駅を出発した特急列車は、甲府盆地を西に進む。韮崎駅を過ぎると、左車窓に南アルプスの連嶺が見えてくる。最初に見えるのは「鳳凰三山(ほうおうさんざん)」という大きな山塊である。私はかつてこの鳳凰三山に4回登った。列車の車窓からかつて自分が登った山が見えるのは、とても嬉しいことだ。鳳凰三山の根拠地は韮崎駅。そこから長い林道をマイクロに乗せてもらい、青木鉱泉へ。そこから三山を巡って、御座石(ございし) 鉱泉へ下りる。逆ルートでも良い。登山口と下山口が異なるので、変化に富んだ楽しい山行が楽しめる。



鳳凰三山の中でも特に目立つのが、一番北(車窓からだと右)に見える、「地藏ヶ岳」である。山頂に何か出っ張っているものが見える。これは中央本線の車窓からでも、肉眼で確認できる。山頂のケルン(石を積んだモニュメント)だろうか? 実はそうではない。



甲府駅

身延線

中央本線

県庁

稲荷曲輪

稲荷櫓

県道甲府山梨線

本丸

二の丸

鍛冶曲輪